

事業概要	レンタルPCサービス、経営コンサルティング、Webマーケティング	
部署	レンタルPC事業部	
所在地	〒108-0074 東京都港区高輪3-23-17 品川センタービルディング 4F	
連絡先	(電話番号)03-6385-1099 (E-mail) support@rental-pc.net	
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	レンタルPCサービスを通じて廃棄物の再生・高齢者の雇用創出・次世代技術の寄与へ貢献を進めて、持続可能な循環型のビジネスおよび社会に寄与していくビジネスモデルとして進めております。	
ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	サーキュラーエコノミー
	<p>弊社では廃棄予定のノートパソコンを主に都内において回収・買取をおこない、リペアによるアップサイクルを施して、それを各地域の中小企業・学校法人等にレンタルにてご利用いただく事業を行っています。</p> <p>本事業では廃棄物予定の物品を熟練スタッフによりアップサイクルすることで、PCの廃棄による環境負荷ゼロを目指すとともに、循環型モデルの形成を目指しており、それによりサーキュラーエコノミーの実現を目指します。</p> <p>PC回収からレンタルまでは、多拠点型リペアによる生産方法を採用することで、事業拡大に伴う地方の雇用創出するモデルとなっています。</p> <p>当社のレンタルPCを利用することで、環境配慮の面だけでなく、PCの性能が高いことから労働効率の向上、導入コストの削減、システムスタッフの軽減というメリットもあります。</p> <p>また、現在は兵庫・岐阜・大阪の学校法人においてご利用いただくなど、教育現場などのデジタル化のお手伝いも行っています。</p>	

## ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

## (1) “地域の資源”の活用について

リペア拠点の展開をおこなう際は精密機械の製造に適した湿気が低く、物流を考慮した交通の便が重要になります。サービス特性上、費用対効果を求められる商材となるため、特徴部分となる低価格を実現させるべくリペア拠点を地方に所在させる必要があります。

その際、該当地域の資源といえる天候や道路(交通網)といった環境面で選定させていただいております。

新たな取り組みとして、リペア拠点展開と共に都市部で採用したスタッフを該当地域に移住していただくという試みを進めております。

現状の拠点では倉庫を利用させてもらっていますが、今後の展開として地域に点在する空き家の活用を積極的におこなう予定です。

## (2) どのような地域課題を解決できるのか

①リペア拠点や代理店となる店頭受け渡しの店舗の協業展開により、地域での経済活性化の貢献をさせていただいております。

代理店の連携は、派遣会社、シェアオフィス運営会社といった該当地域において店頭でBtoB取引をおこなっている企業様と進めさせていただいております。

②今後の展開として、地域でつくられた梱包やクッション材等の環境に配慮した配送備品の活用を進めていきたいと考えております。

URL

<https://rental-pc.net/news/rentalpc-sdgs/>

## 上記ソリューションを提供できる地域について

全国

## 自者の特徴

『法人用』レンタルパソコンとしてPanasonic レッツノートを12インチと14インチの2種だけを提供しています。ノート型、IntelCorei5、メモリ16GB、500GBSSD、重さ1.25kg、Microsoft オフィスソフト・セキュリティソフトインストール済みです。送料無料、月額5,500円。初期設定済み、到着・開封後に20秒で立ち上がります。



レンタルノートパソコン 12.1インチ  
バックに入るA4サイズ。持ち運びに便利です。



レンタルノートパソコン 14.0インチ  
モニタサイズが大きく、表計算や開発で活躍。

■特徴としては以下10個あります。

- ①ハイスペックPCが月額5500円でレンタルできる
- ②購入とレンタルを4年間で比較すると9.5万も安い
- ③1ヶ月単位での返却が出来るので、人員の増員に合わせられる。
- ④Panasonic製 レッツノートの特徴。軽くて、壊れない
- ⑤安心のウイルスソフト。Windows Defenderが搭載されている
- ⑥内蔵カメラでビデオ会議に対応
- ⑦HDMI付きなのでプロジェクタやサブモニタ利用も可能
- ⑧返却時に工場出荷状態に戻すため、初期化設定作業が不要
- ⑨ワード、エクセル等のOfficeはMSNアカウントがあれば利用可能
- ⑩不具合発生時にリモート対応可能

## SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

労働環境はまだまだ変化がおこり、より業務効率はあげていけるものと考えます。業務効率を上げるツールとしてレンタルPCサービスは開始しました。新しいものをつくる・生み出す一方で、廃棄物も発生する、それらが問題になるようだと本末転倒になります。そこで、循環型のモデルとしてサービス設計をおこなっております。そのうえで、現状の課題は、一人の業務効率が数パーセント上がることで組織全体を見た際に何倍にも膨れ上がるということの認知が浸透されていないことです。早期に認知をあげ、全体の最適化に貢献していきたいと考えます。